

若槻城跡整備の活動報告

7月22日(土)、若槻地区城跡保存顕彰会メンバーによる若槻山城跡の草刈りを行いました。城跡保存顕彰会は前年度の区長(今年は令和4年度の区長)を中心に組織され、毎年若槻山城跡維持管理のため草刈りを行っています。

ビーバーを背負いながら山道を500メートルほど登ると雑草に覆われた五の郭が出現し、ここから50メートル程で主郭に到着しました。毎年この時期に整備を



行っており、今年は主郭と四の郭の整備にしっかりと汗を流しました。

…若櫻山城跡とは…

長野市指定文化財(市指定記念物)であり、1400年代(室町時代初期)に、ふもとの若槻城址とともに築城されていたものと考えられています。林道脇に入口案内がありますので御観る方は一度訪れてみてはいかがでしょうか。

(若槻地区城跡保存顕彰会)

山千寺観音祭り報告

「読経と琴の響きに彩られた観音祭り」

8月6日午後2時から吉区の旧山千寺觀音堂において、コロナ禍で中止が続いていた觀音祭りが4年ぶりに開催されました。

杉木立に囲まれ200年の歳月を重ねた観音堂に山千寺のご本尊である国の重要文化財・銅造觀音菩薩立像を祀り、年に一度の拝観の機会を皆様に供することができました。

祭りは会長挨拶に始まって、麓の地蔵院住職眞田法海様により観音菩薩
縁日の四満八千日法要が執り行われ、来賓紹介につづきコミカわ会長、笠原
様、吉区長、有賀様、長野市教育委員会文化財課課長・石坂様、長野市議会議員・滝沢様からご祝辞をいただきました。
最後の奉納演奏は長野県東部交響楽団(おむすび)、お琴の演奏が実現いたしました。

後半の新曲演奏では長野高等学校樂部にほれい、おなじの感覚が実現しました。お堂内へ5台のお琴と三味線、太鼓大鼓により、花かけ変奏曲、富士・夕やけ小やけ変奏曲の3曲が演奏されました。觀音堂を取り囲む杉木立からにじみ出でてくるほの暗さとお琴の音色が響きあって心に沁みわたりました。参列の皆様にはお堂横の広場で演奏に耳を傾けていただきました。お堂のたたずまいとお琴の音色が調和して素敵でしたなど感動の声をたくさんいただきました。

山千寺の觀音像は若槻地区内では唯一の国指定の重要文化財です。この觀音様をお祀りする觀音堂が200年の歳月を経て老朽が進み、最も危機を要する屋根の修理を来年度着手するため長野市に事業申請していること、觀音堂の維持のため更に多くの箇所の修理修復が必要でありそのための時間と資金が不可欠で、地域あててのご支援をお願いしたい…と言頭の会長挨拶で訴えられた言葉が頭から離れません。

短い午後のひと時でしたが、故郷の自然と歴史に触れるとともに、歴史と文化遺産を守ることの大切さと難しさに気づかされました。口上になりました。
(市川市中央町在住)

